

今年は松ヶ岡開墾150年の記念の年です



一番蚕室

松ヶ岡開墾場は、明治5年(1872年)旧庄内藩士約3,000人が刀を鋤に持ち替えて広大な原野を切り開き、開墾を成し遂げた土地です。その後10棟の大蚕室が建造されるなど、鶴岡の絹産業の礎となりました。今年は開墾150年を記念して、1年を通じて様々な催しが開催されます。



本陣

つるおか文化財探訪 ～松ヶ岡開墾150年と酒井家～

講師 松ヶ岡開墾場理事
山田 陽介 氏

日程(座学) 会場: 中央公民館
8/26(木)、9/16(木) 13:30～15:00
(現地研修) 会場: 松ヶ岡開墾場等
10/5(火) 9:00～15:00(予定)

維新後、旧庄内藩士たちは後田山(松ヶ岡)を開墾し、そこを拠点に一大絹産業を興します。その大事業を物心両面から支えた酒井家と松ヶ岡との交流の歴史をたどります。

※この講座の申込は7月を予定しています。

※詳細は広報つるおか7月号をご覧ください。

※新型コロナウイルスの影響で講座の中止・縮小など変更となる場合があります。

お問い合わせ: 中央公民館 TEL 0235-25-1050

特別展覧会のお知らせ

北斎展

世界が絶賛した浮世絵師
師とその弟子たち



葛飾北斎『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』錦絵大判

2021(令和3年)

7.10 土 ～ 8.22 日

鶴岡アートフォーラム

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3
TEL:0235-29-0260(代表) FAX:0235-22-6051
E-mail: info@t-artforum.net URL: https://www.t-artforum.net

開場時間: 9:00～17:30/毎週金・土曜日: 9:00～18:30
※入場は閉場の30分前まで
休館日: 7月12日(月)、7月19日(月)、7月26日(月)、8月2日(月)
会場: 鶴岡アートフォーラム(ギャラリー1・2)
観覧料: 一般500円/高大生300円/中学生以下無料
主催: 鶴岡アートフォーラム、鶴岡市教育委員会
監修: 中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)
企画協力: ステップ・イースト

世界に影響を与えた日本を代表する浮世絵の巨匠葛飾北斎(1760-1849)は、鶴岡市と友好交流関係にある東京都墨田区に生まれました。生誕260年を迎えた葛飾北斎は、江戸時代後期の70年に及ぶ長い活動期間のなかで、役者絵や美人画、妖怪絵、風景画など、幅広い分野に挑みつづけ、摺物だけでなく肉筆画や読本挿絵の世界で偉大な業績を残しました。

本展覧会では、『富嶽三十六景』や『東海道五十三次』といった代表的な浮世絵版画と、『北斎漫画』、そして肉筆画を含む約120点の北斎作品を中心に紹介します。また、北斎の弟子たちの作品や、北斎の影響を受けたフランス人画家アンリ・リヴィエールによる『エッフェル塔三十六景』など、関連する作品約50点も展覧します。

ブックスタートの絵本がリニューアル 新・おすすめ絵本の紹介

赤ちゃんにとっての絵本は、親子が触れ合うひとときをつくり出し、そのひとときが赤ちゃんの心豊かな成長につながっていきます。

鶴岡市では、子育てのお役に立てていただくよう7月、8月、9月の3回、親子の健康相談の機会に、読み聞かせの体験と絵本をプレゼントする「ブックスタート」を実施しています。

今年度これまでおすすめしていた絵本5冊のうち3冊を新しく選定していますので、その中の1冊を紹介いたします。

ブックスタート 1冊目 作・駒形 克巳

1999年、福音館書店、20×19cm

お母さんのおなかの中をテーマにした、不思議な擬音が楽しい絵本です。



厚紙でできているので、赤ちゃんがなめたりかじったりしても大丈夫。どのページにも丸い穴があいていて、穴に指を入れてみたりして遊ぶことができます。

お話のあと、生活の中にあるいろいろな音に目を向けて、音の様子を想像してみるのも面白いですよ。